

ADVANTEST®

2021年度（2022年3月期） 第1四半期決算説明会

2021年7月28日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...  
operation == "MIRROR_X":  
mirror_mod.use_x = True  
mirror_mod.use_y = False  
mirror_mod.use_z = False  
operation == "MIRROR_Y":  
mirror_mod.use_x = False  
mirror_mod.use_y = True  
mirror_mod.use_z = False  
operation == "MIRROR_Z":  
mirror_mod.use_x = False  
mirror_mod.use_y = False  
mirror_mod.use_z = True  
  
...selection at the end -add ...  
..._ob.select= 1  
..._ob.select=1  
...context.scene.objects.active  
...("Selected" + str(modifier...  
...mirror_ob.select = 0  
... bpy.context.selected_ob
```

2021年度第1四半期決算報告

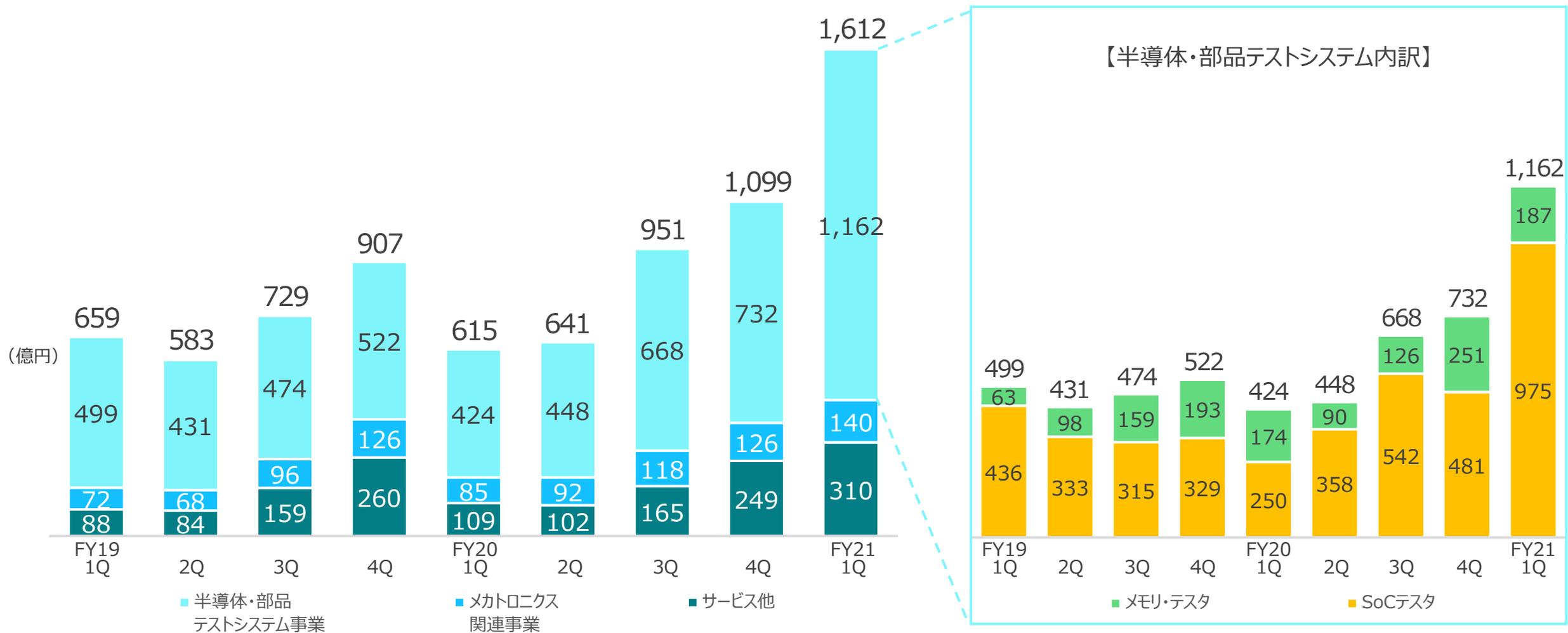
取締役 兼 経営執行役員 藤田 敦司

四半期業績推移

(億円)

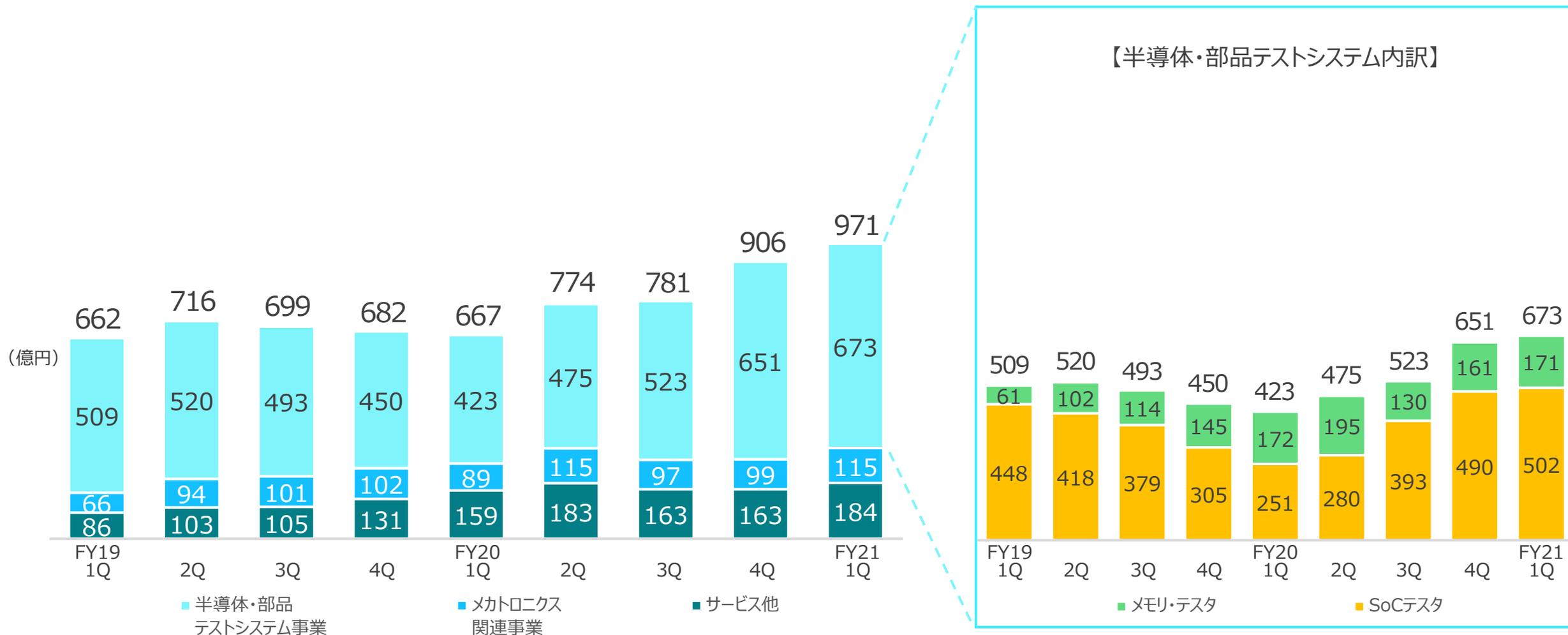
	FY20				FY21				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前期比		前年同期比	
						増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	615	641	951	1,099	1,612	+513	+46.6%	+998	+2.6倍
売上高	667	774	781	906	971	+65	+7.2%	+304	+45.5%
売上総利益	380	416	402	485	547	+63	+12.9%	+168	+44.2%
売上総利益率	56.9%	53.9%	51.5%	53.5%	56.4%	+2.9pts		-0.5pts	
営業利益	135	174	153	245	261	+16	+6.4%	+127	+94.1%
営業利益率	20.2%	22.6%	19.5%	27.1%	26.9%	-0.2pts		+6.7pts	
税引前四半期利益	129	164	139	264	257	-7	-2.7%	+128	+99.6%
四半期利益	106	139	120	333	193	-139	-41.9%	+88	+83.4%
四半期利益率	15.8%	18.0%	15.4%	36.7%	19.9%	-16.8pts		+4.1pts	
受注残	857	725	895	1,088	1,729	+641	+58.9%	+872	+2.0倍
為替レート	1米ドル	108円	107円	105円	104円	109円	5円 円安		1円 円安
	1ユーロ	118円	123円	124円	127円	131円	4円 円安		13円 円安

四半期受注高 事業セグメント別



*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

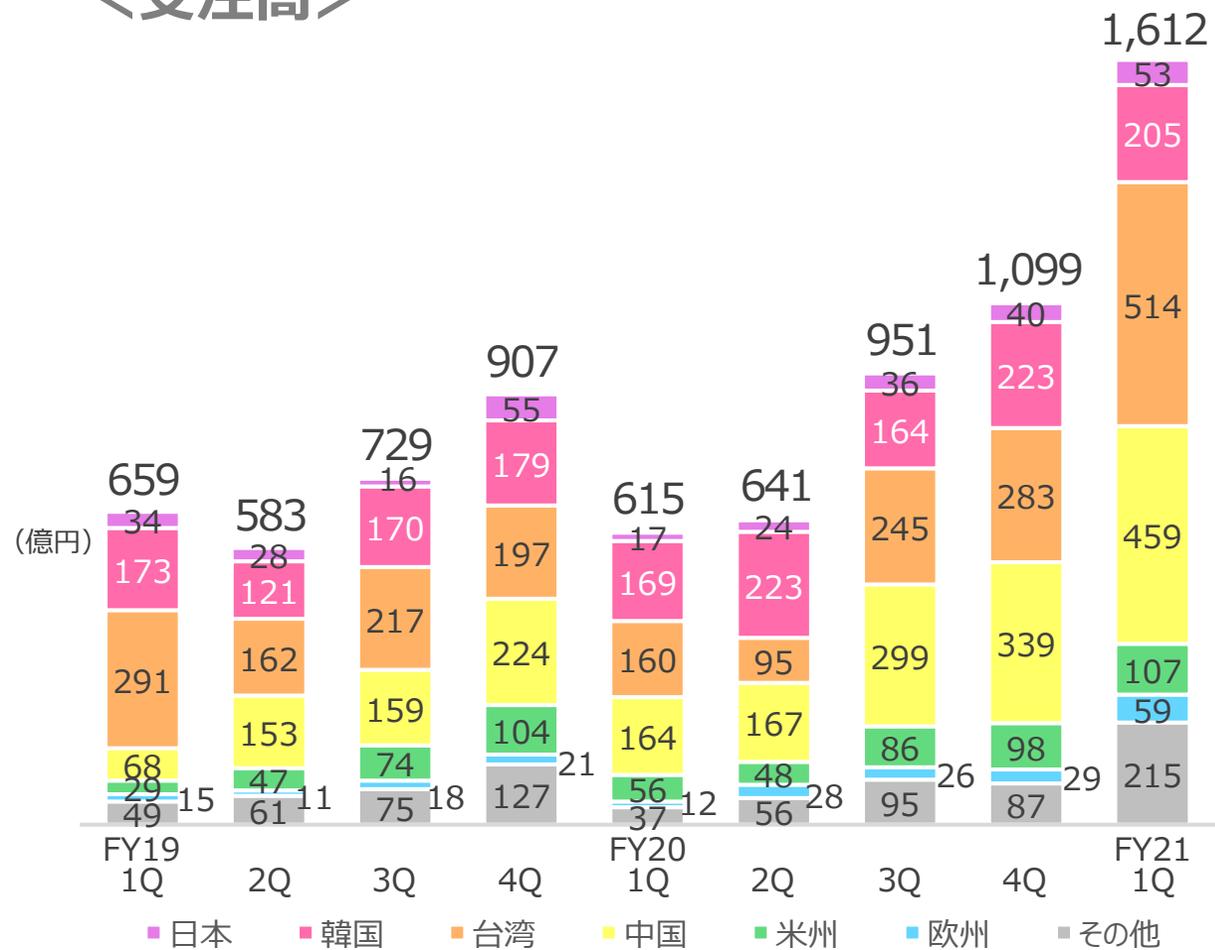
四半期売上高 事業セグメント別



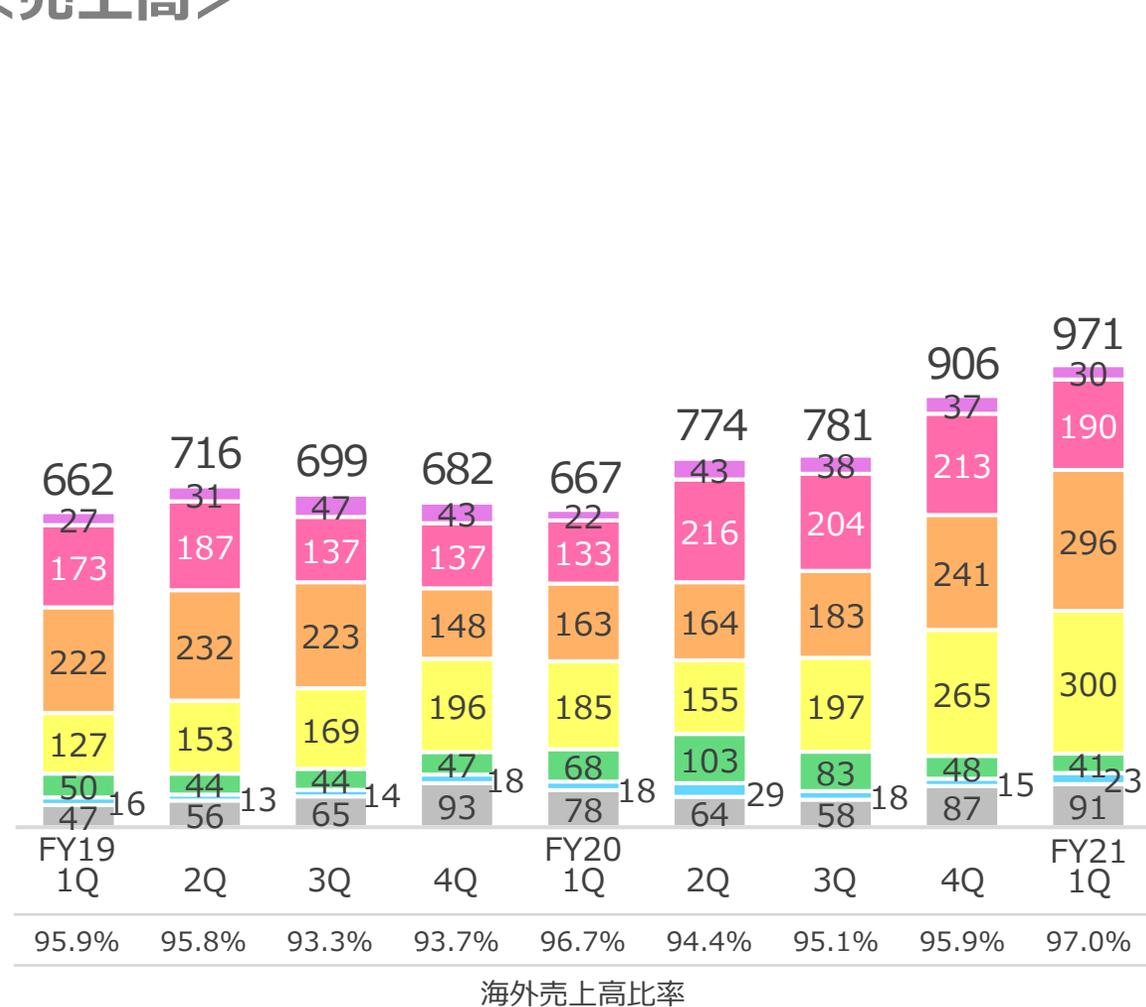
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別

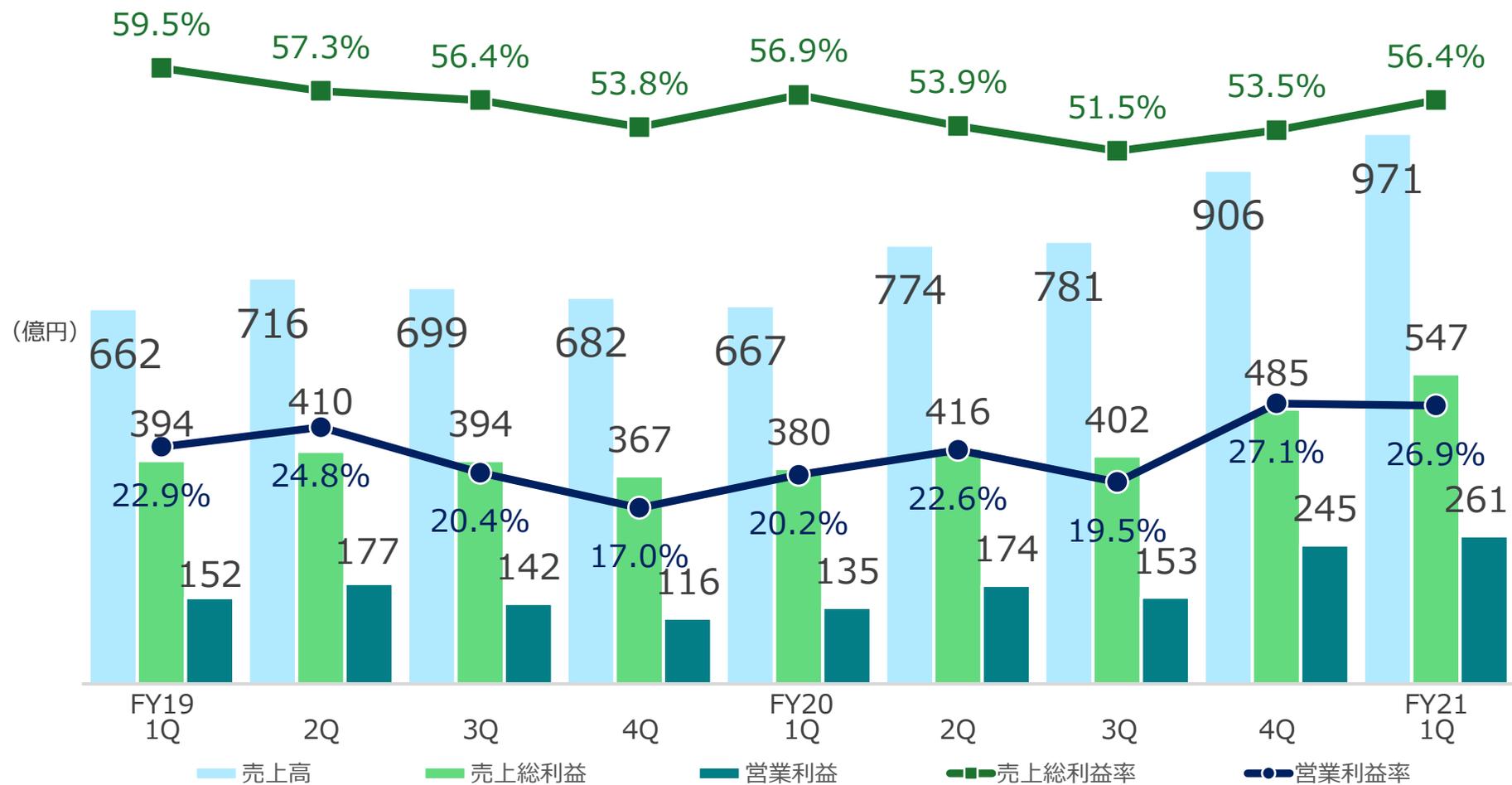
<受注高>



<売上高>



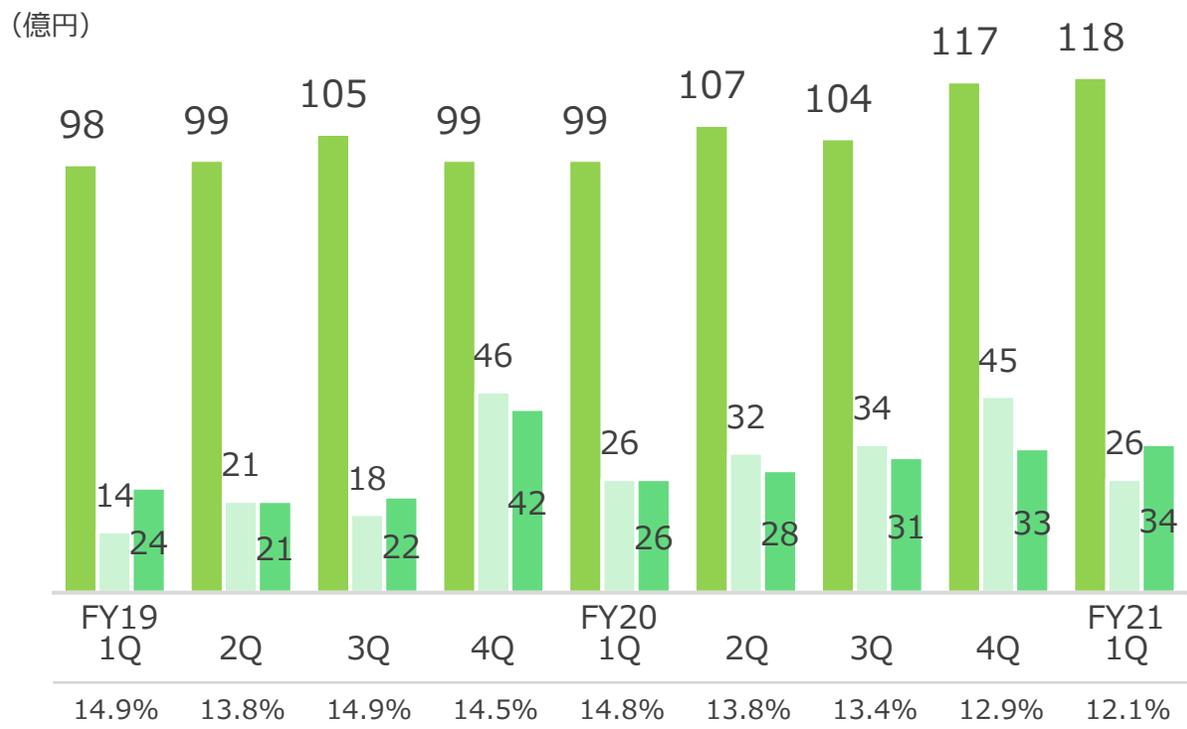
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

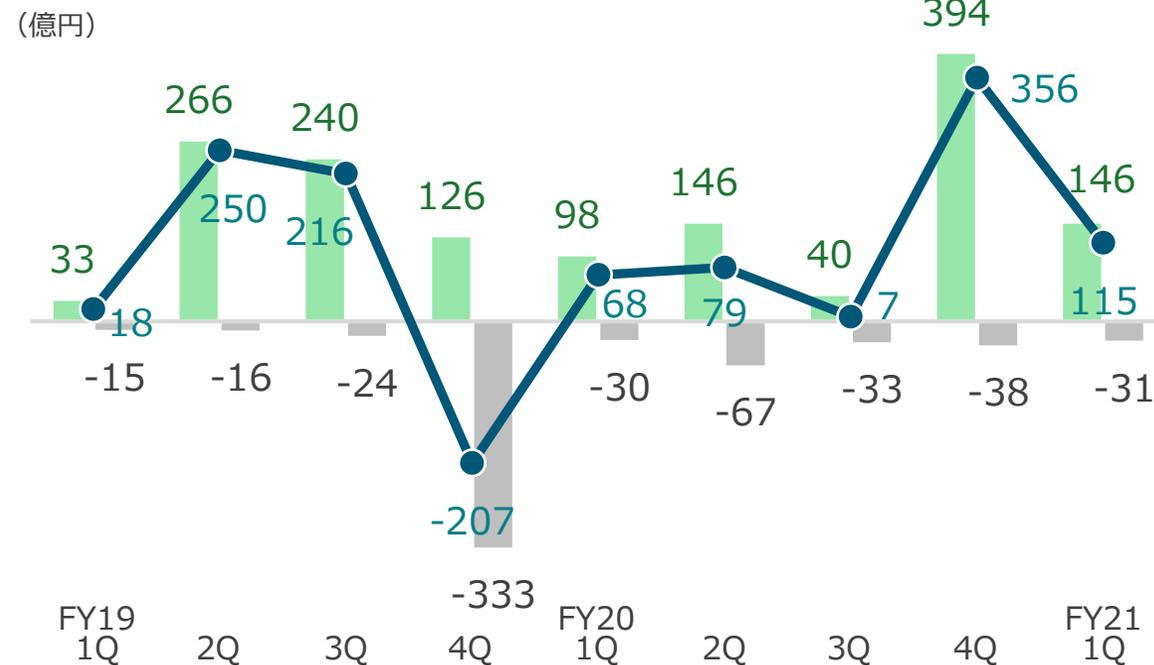
<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



<キャッシュ・フロー>

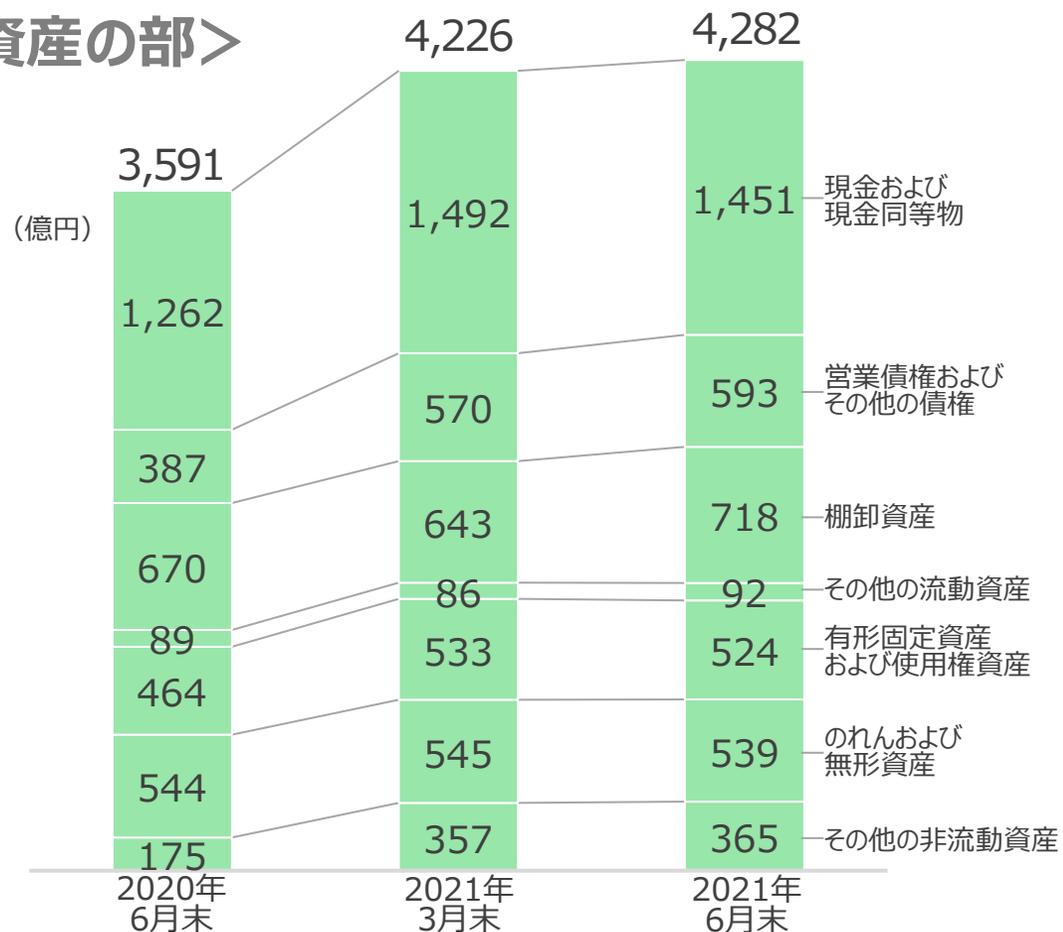
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



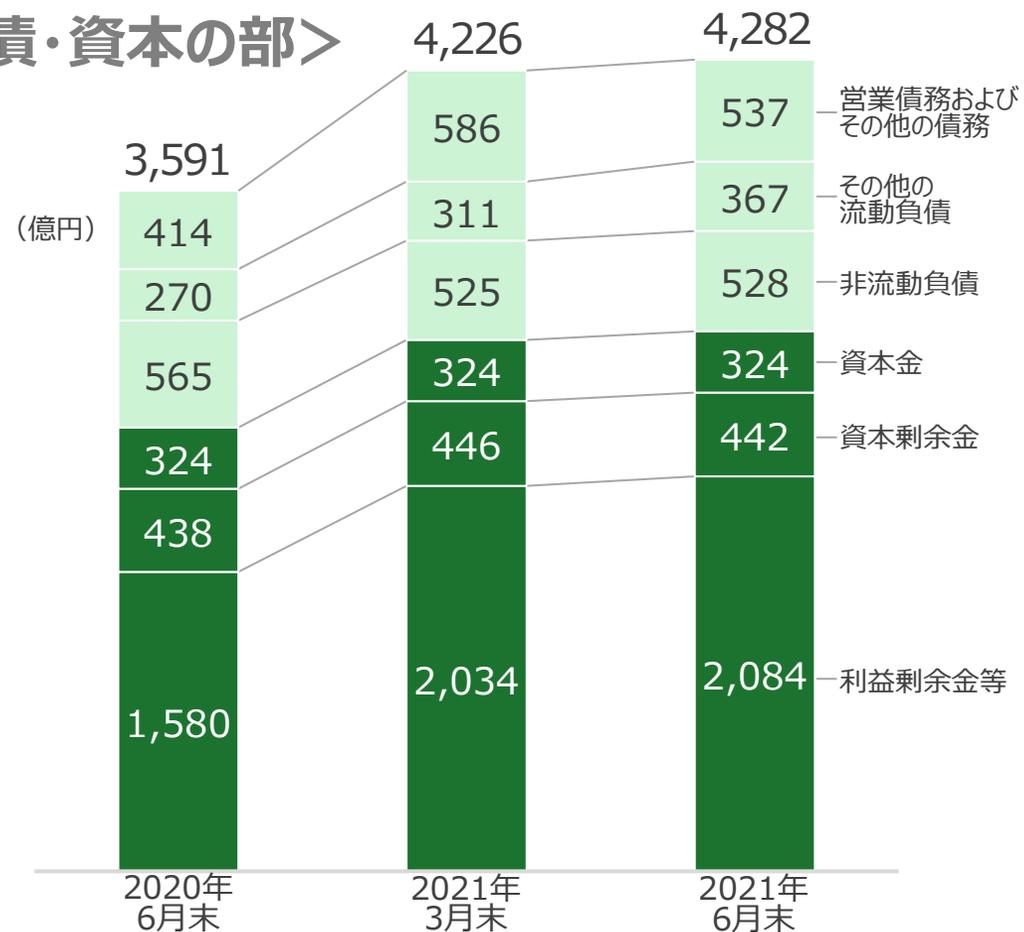
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,342	2,804	2,850
親会社所有者 帰属持分比率	65.2%	66.3%	66.6%

2021年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

半導体テスト市場の動向 <21年7月時点の見方>

CY21予想

デジタル革命進展とエネルギー効率改善ニーズを受け、生産能力増強と半導体高性能化への積極投資が主要地域で進行中

–SoCテスト市場規模: 約\$3.8B

- APUやHPC用デバイス新製品の量産開始や複雑化進展により、各テストユーザーにおける高水準な稼働率は当面継続する見通し
ハイエンドSoC向けを中心に、テスト能力拡充投資の一段の活発化を予想
- 想定より強く推移している車載向け等の動きと併せて、市場規模見通しを引き上げ

–メモリ・テスト市場規模: 約\$1.4B

- デジタル革命進展とともに進められている微細化、多層化、高速化/広帯域化などのデバイス進化が、テスト需要を持続的に牽引

	CY20実績	CY21推定
SoCテスト市場	約\$3.0B	約\$3.8B (4月時点推定:約\$3.4B~)
メモリ・テスト市場	約\$1.2B	約\$1.4B (4月時点推定:約\$1.3B~)

Source: Advantest

FY21業績予想

(億円)

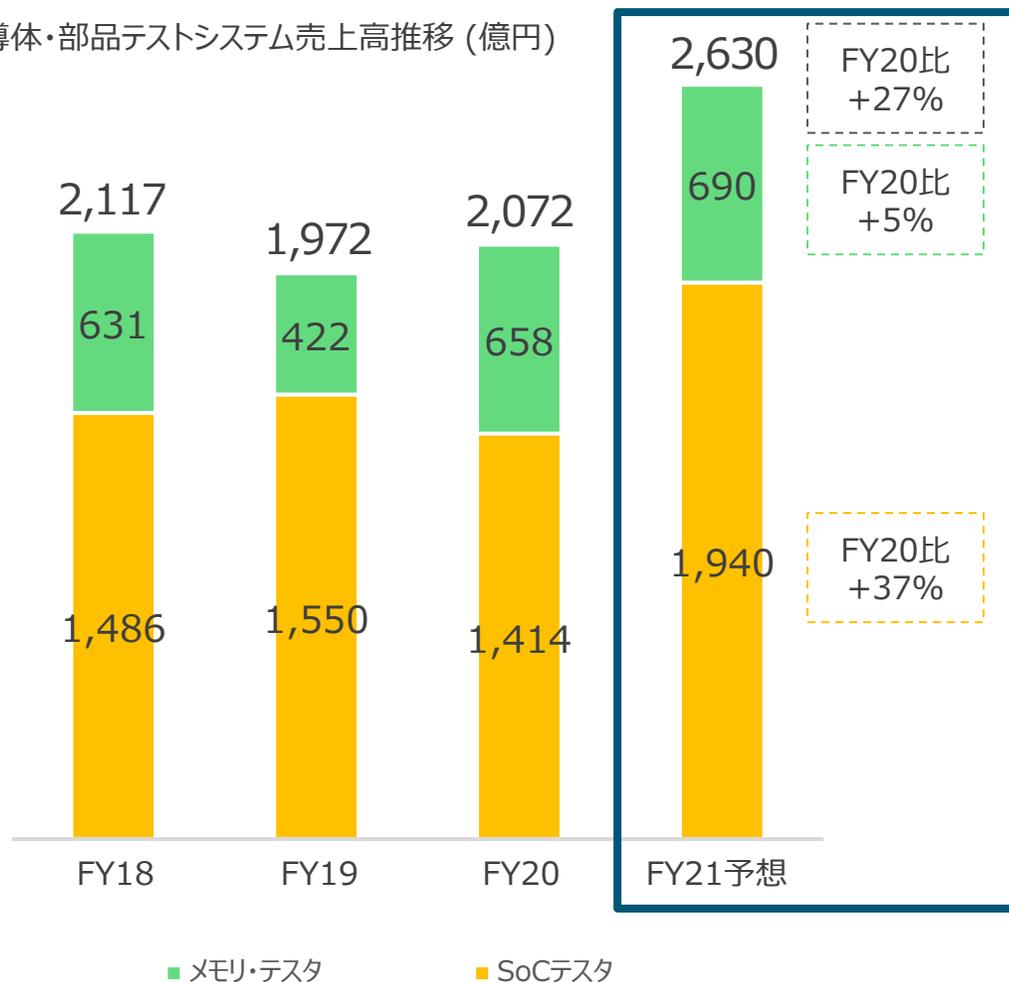
	FY20 実績	FY21						前年度比		(参考)新旧予想比較	
		1Q実績	2Q予想	上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率	4月時点 FY21予想	修正額	
受注高	3,306	1,612	988	2,600	1,400	4,000	+694	+21.0%	3,500	+500	
売上高*1	3,128	971	939	1,910	1,940	3,850	+722	+23.1%	3,500	+350	
営業利益	707	261	235	496	504	1,000	+293	+41.4%	850	+150	
営業利益率	22.6%	26.9%	25.0%	26.0%	26.0%	26.0%	+3.4pts		24.3%	+1.7pts	
税引前利益	696	257	235	492	508	1,000	+304	+43.6%	850	+150	
当期利益	698	193	176	369	381	750	+52	+7.5%	640	+110	
当期利益率	22.3%	19.9%	18.7%	19.3%	19.6%	19.5%	-2.8pts		18.3%	+1.2pts	
受注残	1,088	1,729	1,778	1,778	1,238	1,238	+150	+13.8%	1,088	+150	
研究開発費	427	118	117	235	235	470	+43	+10.1%	460	+10	
設備投資	137	26	54	80	70	150	+13	+9.5%	150	-	
減価償却費	118	34	33	67	68	135	+17	+14.4%	135	-	
為替レート*2	1米ドル	106円	109円	110円	110円	110円	110円	4円 円安	105円	5円 円安	
	1ユーロ	123円	131円	135円	133円	135円	134円	11円 円安	130円	4円 円安	

*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+10億円です。対ユーロは-1.5億円です

FY21見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>（4月予想比 +250億円）

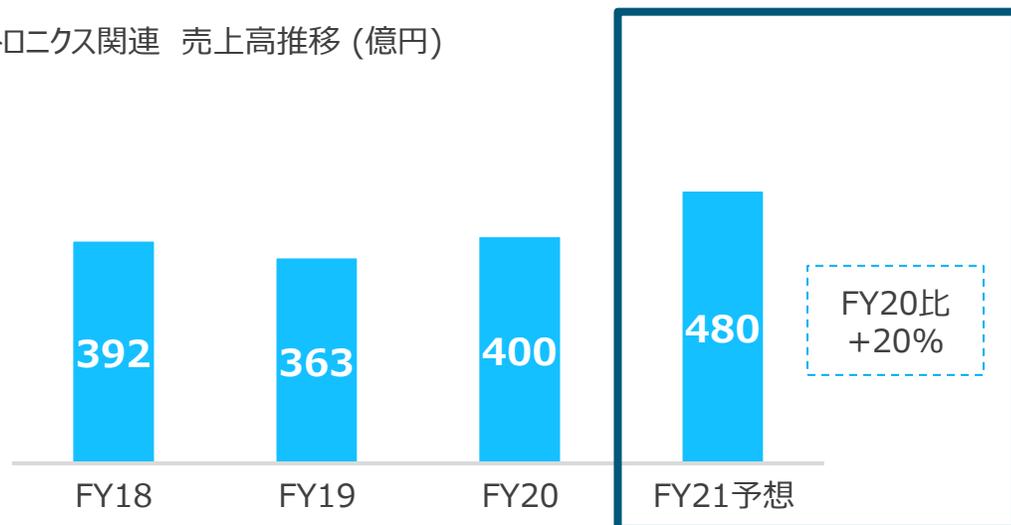
- APUやHPC用デバイスに対する先端プロセス採用を通じた半導体複雑化の進行が、テスト需要を力強く牽引
- 自動車向けや産業機器関連を中心とした、半導体不足を解消するための能力増強の動きもテスト需要をサポート

<メモリ・テスト>（4月予想比 +10億円）

- 当社が強みを持つDRAM高速試験向けを中心として増収を企図

FY21見通し（事業別）

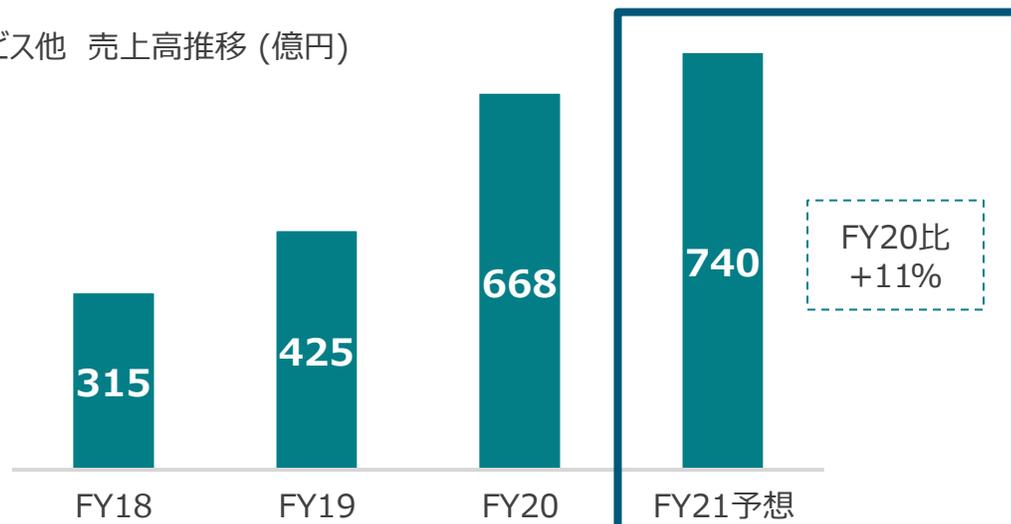
メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



メカトロニクス関連事業（4月予想比 +60億円）

- メモリ・テスト需要と連動し、同製品向けのデバイス・インタフェースやテスト・ハンドラの需要が堅調
- EUV露光の拡大を背景に、ナノテクノロジー製品も需要増

サービス他 売上高推移（億円）



サービス他事業（4月予想比 +30億円）

- 高規格SSDの普及やサーバー・パソコン市場の堅調さを受け、システムレベル・テスト製品の需要が増加
- 当社製品の設置台数が順調に拡大する中、保守サービスの需要増も堅調

自己株式の取得について

<第2期中期経営計画における株主還元方針>

- 安定した事業環境を前提として、直接還元の配当は安定的・継続的とすべく、一株当たり配当金半期50円・通期100円を最低額とする金額基準に変更（従来は半期連結配当性向30%ベース）
- 自己株式取得を含めた通期総還元性向：50%以上を目途とする
- 第2期中計期間中に新規に創出した営業キャッシュフローに加え、手元資金の状況を勘案し、株主還元と資本効率の向上を目的とした自己株式取得を機動的に検討

（ただし、想定以上の資金を要する成長投資機会の発生や、事業環境の変化による業績悪化などにより、これらの株主還元を実行できない場合があります）



- 取得対象株式の種類：当社普通株式
- 取得し得る株式の総数：1,000万株（上限）（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：5.1%）
- 株式の取得価額の総額：700億円（上限）
- 取得する期間：2021年8月2日～2022年3月24日

サマリー

- コロナ禍によって加速されたデジタル革命は半導体需要を大きく押し上げ。生産能力増強と半導体高性能化への積極投資が主要地域で進行中
- 1Q受注高の大幅上振れと今後の見通しに基づき、通期受注予想を500億円、通期売上予想を350億円、それぞれ上方修正。営業利益も過去最高益となる1,000億円超えを目指す
- APUやHPC向けデバイス新製品の量産開始や複雑化進展により、各テスト顧客のハイレベルな稼働率は当面継続する見通し。半導体の不足解消の動きと併せてテスト需要の好調持続を予想
- 株主還元と資本効率向上のため、1,000万株/700億円を上限とする自己株式取得を実施
- 需要好調のもと、第2期中期経営計画の初年度は幸先良いスタートとなっているが、以下のリスクに留意しつつ中計目標の達成を目指す
 - ① サプライチェーンの目詰まりによる部材調達難
 - ② 期待される世界経済回復の遅れによる需要減退
 - ③ 米中対立や経済安全保障政策がもたらす半導体産業への影響